

令和6年度 学校経営計画・学校評価			□4月4日提出	□10月3日提出	□3月14日提出	学校番号	17	高知追手前	高等学校	課程	全
高知県の教育の基本理念	(1)学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2)郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3)多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人		基本方針	・スケールメリットを生かして多様な教育課程や部活動の充実を図り、特色ある拠点校として、各分野で活躍する人材を育成する。 ・県立高等学校の進学をけん引する学校として、学問を深め、難関大学を含めた生徒の進路実現を図り、高い志を持ち国内外で活躍する人材を育成する。							
	【アドミッション・ポリシー】(入学者受け入れ方針)			【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針)							
	○自分の能力を伸ばそうとする、常に向上心を持った生徒を求めています。 ○思いやりがあり、主体的に考え行動できる生徒を求めています。 ○教科の学習の他に部活動や学校行事、ボランティア活動にも積極的に参加する生徒を求めています。 ○基本的な生活習慣を身に付け、相手の立場に立つて物事を考えることのできる生徒を求めています。 ○何事にも意欲的に取り組み、一生懸命頑張ることができる生徒を求めています。			○「知識・技能」の習得と「思考力や表現力等」を培う活動のバランスに配慮した授業を目指します。 ○総合的な探究の時間「レオプロジェクト」は、探究する力を培い教科の学習に繋がるような活動を目指します。 ○部活動や学校行事等は、生徒の自主性や主体性を育てる活動を目指します。							
スクール・ポリシー	【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力)										
	○自己と社会との関わりから自らの「志」を見出し、将来にわたって自立的、持続的に、「志」の追求と実現に取り組むことができる生徒を育成します。 ○「志」とは、自分だけではなく周囲の人々をも幸せにする、自他の幸福を目指した志が育つよう、確かな学力と気概を持った生徒を育成します。										

学校関係者評価		
【学力の向上】	評価	【 A 】
12月学校評価アンケート(保護者) 「授業の満足度」 82.8% (80%) 「教材研究・授業の工夫」 80.2% (80%) 「学問的奥深さ」 74.7% (72%) 「基礎学力・実力養成」 87.9% (86%) 「落ち着いた勉強できる環境」 93.8% (93%) 「学力向上のための方策」 93% (92%)		
【社会性の育成】	評価	【 A 】
12月学校評価アンケート(保護者) 「社会のルールやマナーを育てる」 89.2% (89%) 「生徒の自主性の育成」 90.7% (89%) 「リーダー育成の努力」 70.5% (70%)		
【チーム学校】	評価	【 A 】
12月学校評価アンケート(保護者) 「保護者との連携」 84.8% (85%) 「PTA活動」 85.9% (87%) 「保護者に対する進路研修」 78.2% (76%)		

(評価)A: 目標を十分に達成 B: 目標をほぼ達成 C: やや不十分 D: 不十分										
		育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】	
重点項目	学力の向上	★確かな学力 ○基礎的・基本的・発展的な知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○学びに向かう力、人間性等 ★将来を見通した学び ○将来にわたって学び続ける意欲(学習習慣を含む)	指標 ①国公立大学入試結果109/218名(50%) うち旧帝・医医10(現役、志願者 15) ②全国模試(進研3～5教科総合)偏差値 60 ③家庭学習時間調査結果 180分(1・2年平日) ④県オリジナルアンケート「将来の可能性を広げるために勉強を頑張っている」 100% 現状(R5) ①161/238名(68%) うち旧帝・医医 (現役6人) ②1年55.6 2年57.4 3年文系52.4、理系51.2 ③1年122分・2年129分 ④1年97.7% 2年94.1% 3年97%	・基礎学力の定着や学問の楽しさに繋がる授業の質的向上と学習サイクルの確立 ・課題テストや定期試験への意識醸成 ・大学入試改革への対応(学校行事・レオタイム・面談等を通じた各自の目標設定) ・進路指導体系の可視化や入試情報の収集・提供の仕組み強化	B	・進研模試(7月) ①(志望)国公立大197名(93%) 旧帝・医医45名(判定) 国公立 A5・B12・C14・D46・E120 旧帝大・医医 A0・B0・C1・D13・E31 ②1年54.4 2年56.6 3年文系54.1 理系52.7 ③1年120.2分 2年110.6分 ④1年93.0% 2年94.3% 3年94.8%	・統一模試、難関模試、実力テスト ・進路検討会、出願指導(面談) ・共通テスト演習、共通テスト予行 ・2次対策(補習・添削)	A	①国公立大学入試結果(前期3/10まで) 計 116名(旧帝大 九州3、名古屋1、大阪6、東京1 計11名、他医学部1名) ②1月進研模試(3～5教科総合) 1年 57.1 2年 文系 57.1 理系 56.8 ③11月家庭学習時間調査(平日、分) 1年 121分 2年 122分	・入試結果等の情報の収集と提供の仕組み強化に引き続き取り組む。 ・基礎学力の育成とともに探究活動等を通した主体的態度を育てる取り組みをする。
	社会性の育成	★豊かな心 ○自己存在感、自己有用感、コミュニケーション力、自己決定力等 ★多様性・包摂性 ○キャリアデザイン力(やりぬく力) ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	指標 ①学校評価「本校生としての誇り」 85% ②学校評価「人間的な成長」 90% ③心の指標「将来の夢や目標」 85% 現状(R5) ①77% ②87% ③84%	・学校行事や部活動の充実による協調性や責任感、連帯感の育成 ・いじめ防止基本方針に基づく基本方針の共有 ・服装、挨拶、清掃等を通じた社会人としての規範意識の育成 ・レオタイムにおける課題解決・探究等を意識した取り組み(先達、探究発表型文化祭等) ・学びの意義や夢の実現について具体的に提示する取り組み	B	・学園祭では、飲食模擬店が復活し、コロナ前の状態で感染対策・熱中症対策を十分取りながら実施 ・生徒会定例会(週1)コンタクトケース回収(随時) ③78.6% ①② 12月実施	・総合的な探究の時間 各学年団プログラム 岡山大訪問(1年) OGAプログラム・志望動機作成(2年) 入試問題研究(3年)	A	12月学校評価アンケート ①「本校生としての誇り」81.7% ②「人間的な成長」88.9% ③「将来の夢や目標」80.1%	明確な将来像や進路意識につながる大学訪問やレオタイム、研修旅行等を通して学校生活に目標を持たせる。今年度より新たに1年生に室戸の宿泊合宿を取り入れたこともそれらに効果があったと判断し次年度も改良して行う。
取組項目	地域協働学習	【取組のねらい】 ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携	指標 高知県オリジナルアンケート(1回目) ①「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」 70%以上 ②「地域や社会をよくするために、地域貢献活動やボランティア活動など、実際に行動している」 30%以上 現状(R5) ①57% ②23.9%	・総合的な探究の時間 「人生の先達からの聞き書き」 1年生が3人一組となり、地域や卒業生の方からこれまでの足跡について聞き書きし、成果物を贈呈する活動	B	地域社会への貢献に関しては、意識の高まりはあるが、地域活動やボランティア活動に関しては本校の性質上機会も少なく、あまり高い数値とはなっていない。 ①1年70.0% 2年64.0% 3年62.3% ②1年33.4% 2年29.9% 3年17.5%	・総合的な探究の時間 「人生の先達からの聞き書き」	B	高知県オリジナルアンケート(2回目) ①1年 60.2% 2年 61% 3年 76.6% ②1年 23.1% 2年 33.5% 3年 35%	今年度から再開した「人生の先達からの聞き取り」においては、有意義な生徒の活動ができたが、先達の皆さんとの連絡や調整にはまだまだ煩雑な面も多く、更なる工夫が必要である。
	教科横断的教育	【取組のねらい】 ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成	1年生全員が教科横断的な成果物を提出する	・総合的な探究の時間 「探究Ⅱ科学 ゲノム編集」 現代の国語、生物基礎、公共での知識を活用してゲノム編集について考察する活動	B	・総合的な探究の時間 本年度は「エア新書」に変更	・総合的な探究の時間 探究型読書「エア新書」	B	・成果物や発表に一定の成果は見られる。	次年度より「人生の先達からの聞き書き」にまとめるが、事前の指導や活動に時間配分等の改良は必要。

		取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
チーム学校	学校の振興	★学校の魅力化 ○保護者や地域から信頼され、支持される学校づくり	指標 ①PTA総会出席率 60% ②学年PTA出席率 1年60%・2年55%・3年60% ③PTA校内研修参加者数 70名 ④学校ホームページのアクセス数 500超/1日 現状(R5) ①20.1 ②1年55.6 2年32.2 3年51.7 ③62名 ④712超/1日	・各種PTA活動の充実や可視化への取り組み ・土曜特別授業を活用した働きかけ ・学校説明会や学校案内、学校だより、学校ホームページを活用した情報発信	B	①PTA総会出席率27.6% ②学年PTA出席率 1年33.8% 3年65.6% (2年10/26) ③PTA校内研修参加者数49名 ④HPアクセス数 1500超/1日(最大4000超)	・行事検討委員会 総会の日程・内容を決定 ・PTA委員会 研修旅行の日程・内容を検討	B ①PTA総会出席率27.6% ②1年33.8% 2年40% 3年65.6% ③PTA校内研修参加者数49名 ④HPアクセス数 1500超/1日(最大4000超)	PTA総会や各種研修等の毎年の見直し検討をすることで内容もより充実したものにってきているので引き続き行う。
	不祥事防止	★教職員の倫理観の堅持 ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応	○現状課題 誤配布等による個人情報流失を防ぐため、必ず複数回、複数人で確認 ○校内研修年3回実施 ○不祥事防止委員会の年3回実施	配布等による個人情報流失を防ぐため、必ず複数回、複数人で確認	B	・誤配布等による個人情報流出は複数回、複数人での確認を実行しているので今のところなし ・校長の要請により不祥事防止委員会・校内研修現在2回実施	・不祥事防止委員会	A ・誤配布等による個人情報流出は複数回、複数人での確認を実行しているので今のところなし ・校長の要請により不祥事防止委員会・校内研修現在4回実施 ストレスチェック実施率94.3%	実際に不祥事が発生しているわけではないので不備な点等については議論していない。
	働き方改革	★長時間勤務の解消 ○効率的、効果的な業務改善	指標 ①定期試験時や長期休業中の休暇取得率 100%(全員) ②事務処理改善件数 1件以上 現状(R5) ①年間平均91% ②0件	①管理職の呼びかけや日頃からの思いやりを伴う声掛け	B	①夏季休業期間 取得率100% ②0件	・衛生委員会 NO残業ウィークスや年休取得の呼びかけ ・事務処理改善に向けた見直しの継続	A ①定期試験時や長期休業中の休暇取得率 長期休業中 62名 (100%) 前期中間 57名 (92%) 前期末 53名 (85%) 後期中間 55名 (89%) ②事務処理改善件数0件	長時間勤務についてはぎりぎりの人員での業務遂行であるため、時期や突発的な教職員の病気、入院等が重なることで状況が大きく変わってしまうが平常時であれば先生方のワークバランスの見直しによって解消されてきたし、年休等も取りやすい雰囲気づくりもできてきた。